

〔鈴木孝夫著『日本語教のすすめ』(抜粋)を、恒存の「關係論」圖で読み解く〕

\* P179[日本語には三人稱(型:E)しかない]と、神道文化(D1:恒存以下文)との關聯…

「私たちの祖先は、死や病ひと同様に、我を、エゴイズムを、このうへない醜いものとして却けてきた」(『日本および日本人』P 181)。

\* 以下圖は、恒存の「關係論」、つまり、言葉(潜在物F)の裏にある關係(實在物D1)と、關係・實在物たらしめる場(C又はC')、そして「F・D1」二者を有機的に結び附けるその型(E)の有無を示したものである。

